

京都嵯峨芸術大学

庄報

56



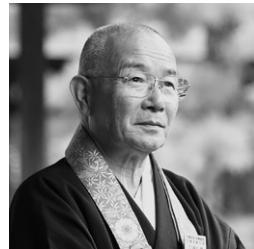
CONTRIBUTION

学長からの
メッセージ。
理事長・

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
新年度を迎えるにあたり、本学の理事長、学長からのメッセージをお届けいたします。

新入学を祝して

大覚寺学園 理事長 江頭 弘勝



新入生諸君へ

学長 森本 武



「京都嵯峨芸術大学」「京都嵯峨芸術大学短期大学部」に新入学の皆さま、ご入学おめでとうございます。学校法人大覚寺学園理事長を務めさせていただいております大本山大覚寺執行長の江頭弘勝でございます。

大覚寺は、平安時代のはじめ、嵯峨天皇さまの離宮として建立されて以来1200有余年の歴史ある古刹であり、今日では“華と心経の寺”として親しんでいただいております。

嵯峨天皇さまは、世の平安を願って大沢池に浮かぶ菊ガ島に咲く菊を手折られ、殿上の花瓶に挿されました。すると、その姿が自然に天・地・人の三才が備わっていたところから「後世花を生くるものは宜しく之を以て範とすべし」と仰せられました。

皆さまは今後、学校生活の中で「伝統」「歴史」「技術」すなわち創造すること・物づくりを学んでいかれます。そのような中で、私たちに「人生の目的」を定め、それに向かってさらに「目標」を立て、歩みをつづけられるでしょう。大変厳しいことにも出会うかもしれません、そんなときには一人で抱えず先生や友人に相談し力を合わせて乗り越えていただきたいと思います。

皆さまは若いです。若いということは強みになります。皆さまには、次の世代へつながる漸新な感性と新しい発想を期待しております。どん欲に、柔軟に、若いうちにいろんなことを学んでください。あなたたち一人ひとりの可能性に希望を感じます。学生生活におけるさまざまのことから、厳しいことから学びを得てどんどん大きくなってください。

これまでの自分から決別して、違うキャラクターを生きてみたい、と願っているひとは、この新入学という機会がつかえるとおもうのです。

自分の意識の中では、大きく変えたいものがあつても、長く親しい周囲の人間が、それをゆるしてくれないという状況もあったかとおもいます。その点、周囲の環境ががらっと変わることに、自分の本気の望むところを試せそうです。

芸大という場自体が、学校として、ちょっと変なところがあるので、つまり許容範囲が広いので、そこを利用して自分も変わりやすいとおもいます。

正解が一つ隠されているという形式の問題を解く作業と創作は基本的に違います。学ぶべきことを先生がほぼ用意して、学生は具体的な指示を待つという受け身な教育は、芸大のものではありません。

たとえば、「客観的事実」という言葉はありますが、実体はどうでしょう。事実は常に人の数だけ主観的に彩色されています。世界は、わがままな個人の気まぐれを余儀なく取りまとめたかたちで変化しています。

信じる、覚えるよりも、疑う。より高度な学びの場としての大学の特徴は、疑う力の養成にある、と私はおもいます。型通りの答よりも、斬新な問い合わせよりも重要なのです。芸大は、さらに、その問い合わせを表現する特異な実験場でもあります。

これまでの学校で与えられてきた知識や世界観を疑いながら、これまでの自分も疑い、「私」というキャラクターを自らつくりあげていく悦びを、この機会に知ってほしいのです。

2016年度 運営体制

2016年度の運営体制が次のとおり編成されました。(2016年4月1日付)

■ 執行部体制

【大学・短大共通】学長 森本武教授／副学長 増田洋教授／事務局長 松本透／教務委員長 佐藤文郎教授／学生支援委員長 仲政明教授／

入学広報委員長 神谷三郎准教授／芸術センター運営委員長 芳野明教授

【京都嵯峨芸術大学・同大学院】芸術学部長 江村耕市教授／造形学科長 大島成己教授／デザイン学科長 辻勇佑教授／

大学院芸術研究科長 宇野和幸教授

【京都嵯峨芸術大学短期大学部】短期大学部長 坂田岳彦教授(美術学科長・専攻科長兼務)

【附属機関】芸術センター長 芳野明教授(博物館長兼務)／図書館長 佐野仁志教授／学生相談室長 康智善教授

教職員人事

■ 退職(2016年3月31日付)

【教員】三宅章介教授(芸術学部デザイン学科教授)／北村正己教授／藤本秀樹教授(短期大学部美術学科教授)

【職員】午居隆平／藤井直美(社会連携・研究支援グループ)

■ 着任(2016年4月1日付)

【教員】谷内春子／太田垣文美(短期大学部美術学科講師)

【職員】藤村享子／中永紗枝子(教務・学生支援グループ)

2016年度 入試結果報告

昨年8月のAO入試Ⅰ期から始まった2016年度入試も、3月をもって全日程を終了しました。志願者総数は芸術学部385名、短期大学部227名と昨年を大幅に上回りました。合格者に対して、芸術学部・短期大学部とも年額500,000円を給付するスカラシップ入試では、2016年度より大学入試センター試験の成績制限を撤廃し、実技試験(鉛筆デッサン)の結果により総合的に判定することとしました。今後も

多くの方に受験いただけるよう、入試奨学金制度の拡大に努めてまいります。

次年度はオープンキャンパスのほか、今年度たくさんの方にご参加いただきました体験入学イベントの開催回数を増やし、予約制キャンパス見学会の実施を引き続き行うなど、各種イベントを充実させていく予定です。多くの方に本学の学びを知りいただけるよう、受験生や高校、美術研究所とより一層交流を深め、広く告知を行っていきます。(入学広報グループ)

2015年度 卒業式

2015年度京都嵯峨芸術大学および京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業証書・学位記授与式、ならびに修了証書授与式が3月19日(土)に執り行われました。

卒業・修了者数は以下の通りです。

[京都嵯峨芸術大学]

大学院 芸術研究科 12名

芸術学部 造形学科 51名

芸術学部 デザイン学科 74名

[京都嵯峨芸術大学短期大学部]

専攻科 14名

芸術学科 美術分野 17名

芸術学科 デザイン分野 60名

芸術学科 マンガ分野 16名

芸術学科 コミックアート分野 18名

計111名

なお、卒業式終了後、会場を京都市上京区の「京都ブライトンホテル」に移して教育後援会主催の卒業・修了祝賀パーティーを開催しました。(教務・学生支援グループ)



第44回 京都嵯峨芸術大学制作展 開催報告

【卒業・修了制作展】

2月3日(水)～7日(日)の5日間、京都市美術館において、京都嵯峨芸術大学ならびに同大学院、京都嵯峨芸術大学短期大学部の卒業・修了制作展を開催しました。本学での学びの集大成ともいえる充実した作品が並び、5000名を超える方々にご来場いただき盛況の内に終えることができました。

なお、開催期間中に、とくに優秀な作品として各賞を選考いたしました。(右記の一覧参照)。受賞者は3月19日(土)挙行の卒業・修了証書授与式に先立って行われた授賞式で表彰されました。

【進級制作展】

卒業・修了制作展と同じ期間に、本学本部キャンパスにて「進級制作展」を開催いたしました。学内のギャラリーや博物館、教室、実習室等を会場に、芸術学部1・2・3回生と短期大学部1回生の作品を展示し、保護者の方を含む多くの方にご来場いただきました。(制作展WG)



卒業・修了制作展の様子



進級制作展の様子

第44回(2015年度)

制作展

受賞者一覧

※教育後援会奨励賞、
同窓会賞は氏名の五十音順

賞	学科	分野	氏名
【大学院】	大学院賞	芸術研究科	屈 伸
	大覺寺賞	芸術研究科	レ・ターン・ゲン・フーン
【芸術学部】	大学賞	造形学科	細埜 琢子
	大覺寺賞	造形学科	一井 すみれ
芸術学部賞	造形学科	工芸(陶芸)	藤原 星
	「」	デザイン学科	スペースデザイン
教育後援会奨励賞	デザイン学科	イラストレーション	鶴飼 まどか
	「」	デザイン学科	プロダクトデザイン
「」	デザイン学科	イラストレーション	太田尾みな美
	「」	造形学科	梶本 純子
「」	造形学科	版画	片岡 愛貴
	「」	造形学科	彫刻
「」	デザイン学科	イラストレーション	竹内 孝之
	「」	造形学科	日本画
「」	造形学科	油画	宝性 さやか
	「」	造形学科	彫刻
「」	造形学科	日本画	八木 仁志
	同窓会賞	造形学科	山本 茜
「」	造形学科	工芸(染織)	青山 莉奈
	「」	デザイン学科	プロダクトデザイン
「」	デザイン学科	グラフィックデザイン	塚本 智海
	「」	デザイン学科	松長 ひとみ
賞	学科	分野	領域
【短期大学部】	大学賞	美術学科	美術分野
	大覺寺賞	美術学科	洋画
「」	専攻科	デザイン分野	伊藤 優治
	「」	美術専攻	工藤 未来
美術学科賞	美術学科	美術分野	増山 あゆみ
	「」	デザイン分野	荒谷 琴音・坂口 遥
「」	美術学科	ミニカート分野	相川 遥香
	教育後援会奨励賞	ミニカート分野	朝倉 なつき
「」	美術学科	デザイン分野	岩下 一穂
	「」	ミニカート分野	栗本 茉由子
「」	美術学科	美術分野	後藤 美裕
	「」	デザイン分野	西山 鈴乃
「」	美術学科	美術分野	姫野 知也
	「」	デザイン分野	藤枝 千晶
「」	美術学科	美術分野	増田 悠菜
	「」	デザイン分野	渡邊 蓮
「」	美術学科	マンガ分野	渡 力オリ
	同窓会賞	美術学科	暮らしのグッズデザイン
「」	美術学科	デザイン分野	久保 まどか
	「」	美術学科	イラストレーション
「」	美術学科	マンガ分野	瀬野 良介
	「」	マンガ分野	田中 虹帆

HOPICS

教員・在学生・卒業生の活躍

嵯峨商店街のれんプロジェクト

染織・テキスタイル領域では、型染め、臘縫(ろうけつ)染、シルクスクリーンプリントなどの伝統技法から現代技法まで幅広く染織技法を習得・制作しています。この嵯峨商店街「おもてなしのれんプロジェクト」では、観光客にわかりやすい案内表示を兼ね備えた「のれん」を制作するプロジェクトとして、「嵯峨嵐山おもてなしビジョン推進協議会」の依頼を受け、商店街を彩る33店舗の「のれん」を制作しました。

学生たちは、大学近郊の商店街で実際に使用していただけ

るということで、やり甲斐と責任感を感じ、打ち合わせを重ね、店舗ごとに日ごろ学んでいる技法を活かした個性豊かな「のれん」を制作しました。制作指導をしていただいた金彩伝統工芸士の森垣哲夫さん、「のれん」加工を担当してくださったプラツツの加藤就一社長のご尽力を得て、お披露目会を2月1日に有響館で開催し、続く2月2日~4日に有響館2Fスペースで展示しました。現在は嵯峨商店街の33店舗の軒先を飾っています。多くの方に、学生たちの力作をご覧いただけたら幸いです。
(芸術学部・上田香講師)



電子絵本事業と連携

短期大学部デザイン分野の神谷三郎准教授、卒業生で教務助手の堀としかずさんらが作品提供している「絵本屋.com」が京都新聞朝刊(2015年11月27日付け)で紹介されました。

「絵本屋.com」はコンサルティングベンチャー「ピースライフジャパン」の今井秀司さんが「京都から絵本作家を育

てたい」と始めた電子絵本のベンチャー事業です。大人向けの電子絵本事業で、コミックを中心に拡大している国内の電子書籍市場で、20~30代を対象にデジタル絵本の需要を開拓するものです。すでに、堀さんをはじめとした若手作家の作品をアマゾン・キンドルや、楽天koboなどの電子書籍ストアで販売しており好評を得ています。短期大学部デザイン分野の絵本を学ぶ学生や神谷准教授らも契約をし、今後電子書籍を販売していく予定です。
(入学広報グループ)※「絵本屋.com」(<http://www.ehon-ya.com>)

本学の
話題の出来事を
お届けします。

KYOTO SAGA

本学の
話題の出来事を
お届けします。

教員・在学生・卒業生の活躍

各種連携事業

附属機関

■ 在学生受賞情報 2015年9月以降各種コンテストなどで受賞・採用された在学生の情報を紹介します。

■ 「第100回二科展」

- ・入選 三木 漢さん(造形学科古画1回生)

■ 「京都デザイン賞2015」

- ・京都商工会議所会頭賞

増田 悠菜さん「紙風煎茶」(短期大学部デザイン分野2回生)

- ・入選

大山 凪さん「伏見の清酒」(短期大学部デザイン分野2回生)

坂口 遥さん「伏見の清酒」(短期大学部デザイン分野2回生)

■ 「第16回デザイングランプリTOHOKU」学生部門

- ・優秀賞 金 恵志さん(芸術学部デザイン学科3回生)

岩崎 未紗さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・奨励賞 酒倉 莉里花さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・東北地区印刷協議会会長賞

高橋 亮次さん(芸術学部デザイン学科3回生)

深谷 千絵さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・宮城県知事賞

岩崎 未紗さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・期待賞 小畠 行基さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・入選 志茂 優紀さん(芸術学部デザイン学科3回生)

高橋 亮次さん(芸術学部デザイン学科3回生)

森 瑞希さん(芸術学部デザイン学科3回生)

■ 「第13回ふろしきデザイン学生コンペ」

- ・佳作 山田 真生さん(芸術学部デザイン学科4回生)

■ 「日本フラワーデザイン大賞ボスターコンペ」

- ・1位(採用) 向井 葉月さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・2位 山根 千穂さん(芸術学部デザイン学科3回生)

- ・3位 新川 華さん(芸術学部デザイン学科3回生)

■ 「京都しあわせ俱楽部」(PHP研究所)ロゴマーク採用

- ・新川 華さん(芸術学部デザイン学科3回生)

京都しあわせ俱楽部

■ 「京都鉄道博物館」公式キャラクター採用

- ・「ウメツツ」相川 遥香さん(短期大学部コミックアート分野2回生)

(詳細は広報誌55号に掲載)

プログラムなどの生涯学習支援、地域の企業や団体との共同研究・受託研究・受託事業などの社会連携活動、「京の美意識」などの公開講座や卒業生と大学をつなぐSCC(サガ・クリエイターズクラブ)、フリーマーケット「サガノミノイチ」など地域の住民に親しまれる多様な取り組みを行っています。芸術系大学の特色を活かして京都・嵐山の地域活性化に貢献しており、今回の調査はそれらの活動が評価されたものです。



(入学広報グループ)

「地域貢献度調査」でトップクラスに!!

日経グローカル(日本経済新聞社)「大学の地域貢献度ランキング調査」(日経グローカルNo.281、2015年12月7日)で、本学が「地域貢献度」で近畿圏の国公立を含めた大学のなかでも上位30校に入るトップクラス、また近畿圏の私立芸術系大学では1位となりました。

本学では2014年4月に発足した附属芸術センター(嵯峨芸術センター:SAC[Saga Art Centre])と所管部署である社会連携・研究支援グループという地域貢献を担当する専門部署を設け、そこを中心に生涯学習講座、嵯峨まなび

時計デザインで地域連携



京都産の木材を生かした時計の文字盤デザインを、本学の学生が担当しました。

京都京北を拠点に林業に取り組んでいる井口木材

様からの依頼により実現したこのプロジェクトは、木材の素材そのものの良さを「デザイン」の力によって、より多くの方に

伝えるべく、短期大学部美術学科デザイン分野の学生が授業の一環として手がけました。

公募形式による選考の結果、短期大学部美術学科デザイン分野1回生の後藤美沙央さんと、同じく短期大学部美術学科デザイン分野1回生の井畠幸栄さんのデザイン画が選ばされました。1月6日(水)には本学にて表彰式が行われ、2名の学生には、木製の表彰状と賞金が授与されました。

本デザインは商品化ののち、道の駅など地域の特色を発信する場で販売される予定です。これからも本学は産学連携事業への取り組みを積極的に推進していきます。

(社会連携・研究支援グループ)

博物館・ギャラリー企画報告

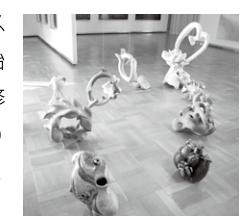
附属博物館では、1月に「京都嵯峨芸術大学大学院修了制作展」を開催。2月には在学生による「進級制作展」が開催されました。

附属ギャラリー・アートスペース嵯峨では、1月に京の山桜人工房嵯峨・木のこころ「風」との協力展覧会第2回「京都・木と山の写真コンテスト」、「京都嵯峨芸術大学大学院修了制作展」を開催。2月には在学生による「進級制作展」、そして生涯学習

講座受講生による「絵本と原画の作品展」を開催。3月には生涯学習講座の先生方による「2015年度生涯学習講座講師作品展」、「2015年度生涯学習講座受講生作品展」を開催し、講座の受講生をはじめ多くの方々が来館されました。また、

玄関ホールギャラリー・アートスペース嵐では2014年度より始まった嵯峨まなびプログラム履修生(日本画コース、油画コース)による作品展が開催されました。

(社会連携・研究支援グループ)



本学関係者による展覧会情報

連続公開講座「京の美意識」

大沼 憲昭／芸術学部造形学科 日本画

『『観○光』 ART EXPO2016 京都展』

会期：4月29日(金・祝)～5月8日(日)

会場：御寺 泉涌寺(京都市東山区泉涌寺山内町27)

※宇野和幸教授(油画)、西嶋豊彦非常勤講師(日本画)も出品されています。

大沼 憲昭／芸術学部造形学科 日本画

『第4回 京宵展』

会期：4月30日(土)～5月2日(月)

会場：京都美術俱楽部(京都市東山区新門前通梅本町263)

日野田 崇／芸術学部造形学科 陶芸

グループ展『Very Addictive - Re-extension of Aesthetics in Daily Life』

会期：4月9日(土)～7月10日(日)

会場：銀川現代美術館(中国寧夏回族自治区・銀川市)

日野田 崇／芸術学部造形学科 陶芸

『アートフェア Young Art Taipei』

会期：4月22日(金)～24日(日)

会場：Sheraton Grande Taipei 9F(台湾・台北)

日野田 崇／芸術学部造形学科 陶芸

『アートフェア東京2016』

会期：5月12日(木)～14日(土)

会場：東京国際フォーラム(東京都千代田区)

ヒキコモリーヌ/短期大学部 コミックアート

ヒキコモリーヌ個展『twinkle』

会期：5月25日(水)～30日(月)

会場：イオリムラ(大阪市北区中崎)

附属博物館スケジュール

『2015年度 卒業・修了制作選抜展』

会期：4月1日(金)～24日(日)

時間：10:00～17:00

休館日：4月24日以外の日曜日

『2015年度 新収蔵作品展(仮称)』

会期：5月14日(土)～6月19日(日)

時間：10:00～17:00

休館日：日曜日(予定)

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

『2015年度 卒業・修了制作選抜展』

会期：4月1日(金)～24日(日)

時間：10:00～17:00

休館日：4月24日以外の日曜日

※ 休館日、開館時間などは都合により変更になる場合があります。

今号の色
桜桃色

桜桃とは、サクランボのこと。この実の色から、鮮やかな紫みの赤を桜桃色と呼びます。太宰治の「桜桃」は、妻と口げんかして家を飛び出した主人公が、酒屋で桜桃を食べる話。生活と創作に行き詰った作家の心と珊瑚のような桜桃の色が見事なコントラストを示しています。

大学関連行事予定 April.2016—July.2016

4月 1日(金) ～ 8日(金)	新入生生活ガイダンス 奨学生説明会(奨学生希望者) 全体会員会 履修登録ガイダンス、履修登録 資格課程(学芸員、教職)ガイダンス 大覚寺見学会 新入生歓迎会(学友会主催)、 造形学科宿泊研修 等	2日(土)… 入学式・保護者懇談会 6日(水)… 定期健康診断 11日(月)… 前期授業開始 24日(日)… オープンキャンパス
5月 29日(日)	… 体験入学	
6月 12日(日)	… オープンキャンパス 19日(日)… 体験入学	
7月 10日(日)	… 体験入学(AOI期プレ体験) 24日(日)… オープンキャンパス	



学校法人 大覺寺学園
京都嵯峨芸術大学
京都嵯峨芸術大学短期大学部

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

京都嵯峨芸術大学広報 第56号 2016年4月1日発行 編集：京都嵯峨芸術大学 入学広報グループ

発行：学校法人 大覺寺学園 京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部

info@kyoto-saga.ac.jp



京都嵯峨芸術大学公式
Facebook



京都嵯峨芸術大学公式
Twitter



京都嵯峨芸術大学公式
YouTubeチャンネル

